

VI 検査課の業務概要

当検査課では「千葉県検査業務運営要領」に基づき検査業務を実施している。

令和5年度に実施した業務は、臨床及び細菌検査業務、食品衛生検査業務、健康危機管理業務、精度管理事業であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてHIV抗原抗体検査37件、性感染症対策として梅毒検査を37件、肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査を39件、B型肝炎ウイルス抗原検査を40件実施した。また、原子爆弾被爆者検診に係る検査として尿検査を4件実施した。

(2) 細菌検査

平常時対策としての腸内細菌検査は、給食従事者・食品取扱業者・水道施設従事者及びその他に対する赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌検査を1,544件、腸管出血性大腸菌O157検査を1,712件実施し、サルモネラ属菌を検出した。

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品衛生法に基づき、収去食品等（豆腐・大豆加工品、給食、弁当・惣菜、旅館ホテル調理品、カットフルーツ、洋生菓子、調理パン等）について検体数186件850項目実施した。

(2) 乳類規格試験

市販の牛乳について、3件、18項目検査を実施した。

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

令和5年度は未実施。

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

9事案について、食品12検体240項目、便130検体2,941項目、ふきとり31検体620項目検査を実施し、黄色ブドウ球菌、セレウス菌、ウエルシュ菌、カンピロバクター、ノロウイルス、アデノウイルスを検出した。

4 精度管理事業

食品衛生検査の信頼性を確保するため、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

(1) 内部精度管理

繰り返し試験と食品検査毎に添加回収試験、陽性対照試験を実施し、良好な結果であった。

(2) 外部精度管理

食品薬品安全センター主催の調査に7回7項目参加し、良好な結果であった。千葉県衛生研究所主催のカンピロバクター属菌の菌種同定及びノロウイルス検出について、良好な結果であった。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
血	梅毒	TP 法	1	11	37
		STS 法	1	11	37
液	HIV 抗体※		2	11	37
	HCV 抗体		1	11	39
	HBs 抗原		1	11	40
尿	糖		6	4	4
	蛋 白		6	4	4
	ウロビリノーゲン		6	4	4
	潜 血		6	4	4
便	寄生虫	塗抹鏡検	—	—	—
		ぎょう虫卵	—	—	—

※HIV 抗原も併せて実施

(2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分	計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
令和 3 年度	3,403	951	92	140	2,220
令和 4 年度	3,282	965	66	146	2,105
令和 5 年度	3,256	1,012	70	164	2,010
赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・ サルモネラ属菌※ 1	1,544	420	34	82	1,008 (1) ※ 2
腸管出血性大腸菌 0157	1,712	592	36	82	1,002
その他の菌	—	—	—	—	—

※ 1 サルモネラ属菌は希望者のみに実施

※ 2 () 内はサルモネラ属菌の陽性数

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表 2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
検 体 数		125	188	186
項 目 数		610	862	850
項目内訳	細菌数 (生菌数)	125	188	186
	大腸菌群の有無	125	180	179
	黄色ブドウ球菌	125	161	158
	サルモネラ属菌	110	140	135
	腸炎ビブリオ	14	32	29
	腸炎ビブリオ最確数	—	10	10
	カンピロバクター	14	17	19
	E. coli の有無	—	8	7
	E. coli の最確数	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0157	97	126	127
	腸管出血性大腸菌 026	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0111	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0103	—	—	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—	—	—
腸管出血性大腸菌 0145	—	—	—	

(2) 乳類規格試験

表 2 - (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
検 体 数		—	3	3
項 目 数		—	18	18
項目内訳	細菌数 (生菌数)	—	3	3
	大腸菌群の有無	—	3	3
	比重	—	3	3
	酸度	—	3	3
	無脂乳固形分	—	3	3
	乳脂肪分	—	3	3

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

表3- (1) 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
令和3年度	1	3,857	—	2	—	3,855
令和4年度	1	494	1	—	—	493
令和5年度	—	—	—	—	—	—
コレラ菌	—	—	—	—	—	—
赤痢菌	—	—	—	—	—	—
チフス菌	—	—	—	—	—	—
パラチフスA菌	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 0157	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 026	—	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌 0121	—	—	—	—	—	—
結核菌：塗抹鏡検	—	—	—	—	—	—

() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他	
事案数								
令和3年度	7	検体数	61	5	47	—	9	—
		項目数	773	100	493	—	180	—
令和4年度	7	検体数	45	—	34	—	11	—
		項目数	283	—	120	—	163	—
令和5年度	9	検体数	173	12	130	—	31	—
		項目数	3,801	240	2,941	—	620	—
項目内訳		コレラ菌	171	12	128	—	31	—
		赤痢菌	171	12	128	—	31	—
		チフス菌	171	12	128	—	31	—
		パラチフスA菌	171	12	128	—	31	—
		腸炎ビブリオ	171	12	128	—	31	—
		NAGビブリオ	171	12	128	—	31	—
		ビブリオ ミミクス	171	12	128	—	31	—
		ビブリオ フルビアリス	171	12	128	—	31	—
		黄色ブドウ球菌	171	12	128	—	31	—
		サルモネラ属菌	171	12	128	—	31	—
		セレウス菌	171	12	128	—	31	—
		ウエルシュ菌	171	12	128	—	31	—
		カンピロバクター	171	12	128	—	31	—
		エルシニア エンテロコリチカ	171	12	128	—	31	—
		エロモナス フィドロフィア	171	12	128	—	31	—
		エロモナス ソブリア	171	12	128	—	31	—
		プレジオモナス シゲロイデス	171	12	128	—	31	—
		下痢原性大腸菌	171	12	128	—	31	—
		腸管出血性大腸菌 0157	171	12	128	—	31	—
		腸管出血性大腸菌 026	171	12	128	—	31	—
		ノロウイルス	127	—	127	—	—	—
		ロタウイルス	127	—	127	—	—	—
		アデノウイルス	127	—	127	—	—	—
	大腸菌群	—	—	—	—	—	—	
	細菌数(生菌数)	—	—	—	—	—	—	
検出菌等内訳		黄色ブドウ球菌	37	—	37	—	—	—
		セレウス菌	5	—	5	—	—	—
		ウエルシュ菌	6	—	6	—	—	—
		カンピロバクター	17	—	17	—	—	—
		ノロウイルス	32	—	32	—	—	—
		アデノウイルス	1	—	1	—	—	—

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表4- (1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数 (生菌数)	42
繰り返し試験	細菌数 (生菌数)	4
	牛乳理化学	—
陽性対照	腸管出血性大腸菌 0157	14
	腸管出血性大腸菌 026	—
	腸管出血性大腸菌 0111	—
	腸管出血性大腸菌 0103	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—
	腸管出血性大腸菌 0145	—
	黄色ブドウ球菌	17
	大腸菌	24
	サルモネラ	15
	腸炎ビブリオ	5

(2) 外部精度管理

表4- (2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人 食品薬品安全センター	大腸菌群
	一般細菌数
	黄色ブドウ球菌
	E. coli
	サルモネラ属菌
	腸内細菌科菌群
	サルモネラ属菌 (硫化水素非産生株を含む)
千葉県衛生研究所	カンピロバクター属菌の菌種同定
	ノロウイルス (リアルタイム PCR)